



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マンダム

コード番号 4917 URL <https://www.mandom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 西村 元延

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 澤田 正典 TEL 06-6767-5001

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	62,724	2.7	5,776	△26.9	6,404	△26.6	4,094	△29.5
2019年3月期第3四半期	61,086	△3.5	7,901	△8.0	8,730	△5.8	5,811	△3.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,100百万円 (3.9%) 2019年3月期第3四半期 3,948百万円 (△51.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	89.56	-
2019年3月期第3四半期	124.25	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	89,347	72,214	74.2
2019年3月期	93,402	75,810	74.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 66,274百万円 2019年3月期 70,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2020年3月期	-	31.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	3.2	5,650	△20.8	6,450	△21.0	4,150	△18.4	92.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	48,269,212株	2019年3月期	48,269,212株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,386,018株	2019年3月期	1,483,926株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	45,717,735株	2019年3月期3Q	46,769,236株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の不確実性等による先行き不透明な状況の中、企業収益や雇用・所得環境は底堅さを維持し、全体の景況感も底堅く推移いたしました。当社海外グループの事業エリアであるアジア経済も、先行きの不確実性等ある中、景気は若干減速しつつも安定した推移を続けました。

このような経済状況のもと、当社グループは持続的な成長の実現に向け、「コア事業である男性事業の維持・拡大」「女性分野のさらなる強化」「インドネシアを中核にした海外事業の強化」に取り組みました。

当第3四半期の連結売上高は、62,724百万円(前年同期比2.7%増)となりました。主として、国内が第2四半期までの落ち込みにより減収であったものの、海外子会社が概ね好調に推移したことによるものであります。

営業利益は、5,776百万円(同26.9%減)となりました。これは主として、国内の減収や一般管理費の増加によるものであります。その結果、経常利益は6,404百万円(同26.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,094百万円(同29.5%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。(売上高は外部顧客への売上高を記載しております。)

日本における売上高は35,737百万円(同5.4%減)となりました。これは主として、第2四半期までの夏シーズン品の苦戦による男性事業の「ギャツビー」ブランドの減収と、インバウンド需要の落ち込みによる女性事業の「バリアリペア」ブランドの減収の影響により、第3四半期も引き続き減収となったことによるものであります。利益面においては、主として売上拡大を目指したマーケティング費用(販売促進費)の投下と、減収の影響により、営業利益は3,340百万円(同34.5%減)となりました。

インドネシアにおける売上高は13,580百万円(同3.0%増)となりました。これは主として、円高による円換算額の減少があったものの、インドネシア国内の売上が堅調に推移したことによるものであります。利益面においては、マーケティング費用(販売促進費・広告宣伝費)の投下と一般管理費の増加により、営業利益は537百万円(同39.9%減)となりました。

海外その他における売上高は13,405百万円(同32.4%増)となりました。これは主として、各社概ね好調に推移したことと、前連結会計年度末より連結対象に加えたACGI社の業績が寄与したことによるものであります。利益面においては、主として増収効果があったものの販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は1,897百万円(同0.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金が減少したこと等により89,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,055百万円減少いたしました。負債合計は、流動負債のその他に含まれる未払金が減少したこと等により17,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ459百万円減少いたしました。また、純資産合計は、自己株式を取得したこと等により72,214百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,595百万円減少し、自己資本比率は74.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8,480百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には14,299百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は6,097百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6,508百万円および減価償却費3,231百万円などによる増加と、法人税等の支払額2,248百万円および未払金の減少額1,524百万円などによる減少であります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は6,255百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,181百万円および無形固定資産の取得による支出836百万円などによる減少であります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は8,232百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出5,000百万円および配当金の支払額2,799百万円などによる減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,341	18,090
受取手形及び売掛金	11,770	11,386
商品及び製品	10,028	10,709
仕掛品	479	408
原材料及び貯蔵品	3,009	3,367
その他	1,318	1,237
貸倒引当金	△21	△19
流動資産合計	52,926	45,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	10,012	9,601
その他 (純額)	8,128	12,188
有形固定資産合計	18,140	21,790
無形固定資産	8,630	8,379
投資その他の資産		
投資有価証券	12,147	12,851
その他	1,567	1,156
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	13,704	13,995
固定資産合計	40,475	44,166
資産合計	93,402	89,347

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,110	2,201
短期借入金	105	62
未払法人税等	1,119	1,046
賞与引当金	958	1,021
その他の引当金	437	201
その他	7,053	6,331
流動負債合計	11,784	10,864
固定負債		
退職給付に係る負債	2,179	2,295
その他	3,628	3,972
固定負債合計	5,808	6,268
負債合計	17,592	17,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,016	11,014
利益剰余金	50,037	51,562
自己株式	△1,828	△6,825
株主資本合計	70,620	67,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,407	5,781
為替換算調整勘定	△5,878	△6,521
退職給付に係る調整累計額	△148	△130
その他の包括利益累計額合計	△620	△870
非支配株主持分	5,809	5,939
純資産合計	75,810	72,214
負債純資産合計	93,402	89,347

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	61,086	62,724
売上原価	28,361	30,055
売上総利益	32,725	32,669
販売費及び一般管理費	24,824	26,893
営業利益	7,901	5,776
営業外収益		
受取利息	201	173
受取配当金	110	119
持分法による投資利益	349	261
その他	217	147
営業外収益合計	878	701
営業外費用		
支払利息	5	20
売上割引	14	11
自己株式取得費用	0	30
その他	29	11
営業外費用合計	48	73
経常利益	8,730	6,404
特別利益		
固定資産売却益	4	14
投資有価証券売却益	—	95
特別利益合計	4	110
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	32	6
その他	0	—
特別損失合計	35	6
税金等調整前四半期純利益	8,699	6,508
法人税等	2,423	2,112
四半期純利益	6,276	4,395
非支配株主に帰属する四半期純利益	465	301
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,811	4,094

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,276	4,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△818	374
繰延ヘッジ損益	△27	—
為替換算調整勘定	△1,573	△669
退職給付に係る調整額	74	25
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△26
その他の包括利益合計	△2,328	△295
四半期包括利益	3,948	4,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,802	3,843
非支配株主に係る四半期包括利益	145	256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,699	6,508
減価償却費	2,562	3,231
のれん償却額	—	168
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44	73
受取利息及び受取配当金	△311	△293
為替差損益 (△は益)	△112	161
持分法による投資損益 (△は益)	△349	△261
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△95
売上債権の増減額 (△は増加)	73	254
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△699	△1,151
仕入債務の増減額 (△は減少)	187	112
未払金の増減額 (△は減少)	△1,958	△1,524
その他	290	847
小計	8,341	8,033
利息及び配当金の受取額	300	312
法人税等の支払額	△2,415	△2,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,226	6,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,339	△2,604
定期預金の払戻による収入	2,400	2,148
有価証券の取得による支出	△3,499	—
有価証券の売却及び償還による収入	21,300	—
有形固定資産の取得による支出	△2,596	△5,181
無形固定資産の取得による支出	△983	△836
投資有価証券の取得による支出	△7	△30
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	202
その他	△60	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,213	△6,255
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△147	△42
自己株式の取得による支出	△0	△5,000
リース債務の返済による支出	△3	△123
配当金の支払額	△3,011	△2,799
非支配株主への配当金の支払額	△266	△246
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△586	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,015	△8,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	△304	△89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,119	△8,480
現金及び現金同等物の期首残高	13,640	22,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,760	14,299

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,903,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が4,997百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が6,825百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社は当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

これに伴い、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて使用権資産およびリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース債務に係る支払利息を計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産の「その他(純額)」が1,014百万円増加、投資その他の資産の「その他」が346百万円減少、流動負債の「その他」が111百万円増加、固定負債の「その他」が233百万円増加、利益剰余金が221百万円増加、非支配株主持分が121百万円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,771	13,187	10,128	61,086	—	61,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,592	2,506	280	6,379	△6,379	—
計	41,364	15,693	10,408	67,466	△6,379	61,086
セグメント利益	5,097	894	1,909	7,901	—	7,901

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,737	13,580	13,405	62,724	—	62,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,651	2,765	286	6,704	△6,704	—
計	39,389	16,346	13,692	69,428	△6,704	62,724
セグメント利益	3,340	537	1,897	5,776	—	5,776

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。